

別紙 1
サブシステム関連図

事業管理システムのサブシステムは以下の通りである。

業務機能	機能概要
事業費管理	公共事業の「実施計画」である箇所毎の予算管理や施行計画を対象とし、箇所付け(予算の配分単位)を行い、本庁での「箇所付」情報を出先機関が利用できるように設定する。
工事管理	「事業実施」として公共事業のうち工事、測量・調査等の委託業務の発注計画を登録し、それをもとに起案(施行伺)から完成までの全般を対象とし、工事、委託の執行管理を行う。
業者管理	入札参加資格者の許可情報、施行実績、技術者情報、指名停止情報、指名留保情報を「業者情報」として取り扱い業者の審査、格付けを行う。
用地補償	用地取得計画及び権利者情報を登録し、それをもとに起案(執行伺)から支払、税務報告資料作成業務までを対象とし、用地取得、損失補償の管理を行う。
予算管理・決算	事業管理システム、財務会計システム、下水道公営企業会計システムのデータを蓄積し、蓄積されたデータをツールの活用なども含めて様々な切り口から検索・抽出する。
電子決裁	起案から決裁までを電子処理で行う。

